

『社会人基礎力の育て方・関わり方』 研修会実施報告

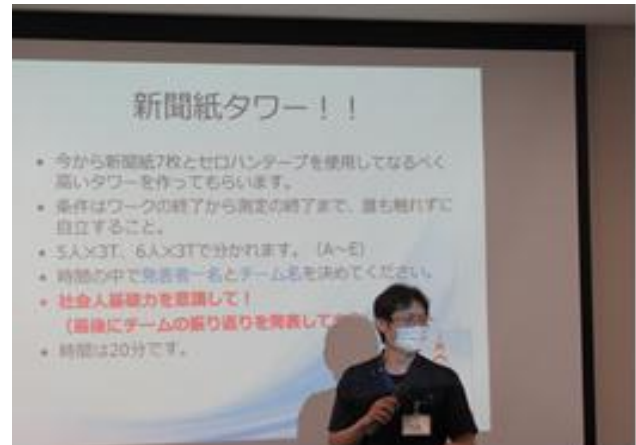
日時 : 令和4年7月9日(土) 8:30~17:15
対象者 : 主査
参加者数 : 33名 一般参加 1名
目標 : 社会人基礎力を持ち、自らがモデルとなり、現場育成ができる

<講師の紹介>

4B 病棟

K 係長

<内容>



はじめに、主査はどのような役割を担っているのかを当院の看護業務基準に沿って説明して頂き、看護師主査は看護実践役割モデルとなり看護実践上でのリーダーを育成する役割があることを再認識できました。

「社会人基礎力」の3つの能力と12の能力要素について、さらに「新・社会人基礎力(人生100年時代の社会人基礎力)」では、①何を学ぶか ②どのように学ぶのか ③どう活躍するのか の新たな3つの視点が加わったことをわかりやすく説明して頂きました。グループワークでは、「私たちは社会人基礎力をこう使

う！」をテーマに各部署での現状をディスカッションし関わり方を考え発表しました。社会人基礎力は、年齢や役割、役職は問わず、心がけていればいつでも伸ばせる力であり、高めようとする意識がなければ低下していきます。自己成長につながる大切な力であると理解できました。臨床においては「社会人基礎力を基盤とした自律・自立した人材の育成」が求められています。主査が主体となり、社会人基礎力を意識して発揮し、チームメンバーの社会人基礎力を伸ばしていけるよう活躍を期待しています。